

巻頭言

『アジア社会文化研究』は、ここに第5号を発行することになりました。今号は、崔吉城先生の退官記念号でもあります。だから、という理由だけではありませんが、様々な領域の論文が並び、これまででいちばん充実した論文集となりました。アジアの社会文化をめぐって、様々な学問領域からのアプローチが展開されています。この多様性こそが、この雑誌の、そして基盤となるアジア社会文化研究会の本来の性格であらねばならないと、あらためて思いをあらたにしています。

創刊号に、崔先生は「広島大学でアジア研究にかかわるものが研究科の枠をこえて学際的に研究成果を発表できる場としていきたい。同時に、その内容やレベルにおいて高度な水準を追求するものでありたいと願い、そのためにレフェリー制度を導入し質の高い研究誌に育てていきたい」と書かれました。私たちは、これまでの不足を反省し、あるべき姿に一歩でも近づけるため、さらに内容を充実させ、学内にとどまらずもっと幅広い研究誌に発展させていければと考えています。

この研究誌は、何より執筆者の投稿、論文審査に当たられた方々のご協力、歴代の編集責任者の粘り強い努力、そして中心となられた崔吉城先生のご尽力で、ここまで続けることができたといっても過言ではありません。更なる発展に向け、ご指導とご叱正を、そしてアジア社会文化の研究に志す諸氏のご投稿とご協力を、これまで以上に賜れば幸いと願っております。

広島大学総合科学部教授 三木直大